

## 葬後祭並に十日祭2

これの奥床を仮の靈舎と齋い定めて安置奉り鎮め奉る故天理教○○分教会○代会長△△△△△大人の御靈の御前に慎み敬いて白さく

あわれ汝大人はや　かくもゆくりなく果敢なく出直し坐しつるは　げに夢に夢みる心地になむ　今尚何処にか在すが如く思ほゆるも　あゝ今は矢張り呼べど答はなく見渡せど御姿はあらず　心は千々に碎けていと淋しき中に御葬の式仕え奉り竟えぬるを以て　家の内外を祓い清め　御前に真榊挿しはやし　時の花立て並べ　心づくしの品々置き足らわし葬後の御祭に併せ十日の御祭仕え奉る時とはなりむ

汝大人の面影を瞼に浮べ　在せし世の事どもとりどりに語り合いて　あの日この時の功績を偲び奉り遺れる心を受け継ぎ　今日より後は一層互い立合ひ救け合ひ　それぞれの持場　立場から進んで世の為人の為にならむと誓いつゝ　かくの如く拝み仕え奉る状を聞食し諾い給いて御子御子孫を始め道の子一同を彌次々と向榮に守り幸え恵み給えと　恐み／＼も白す